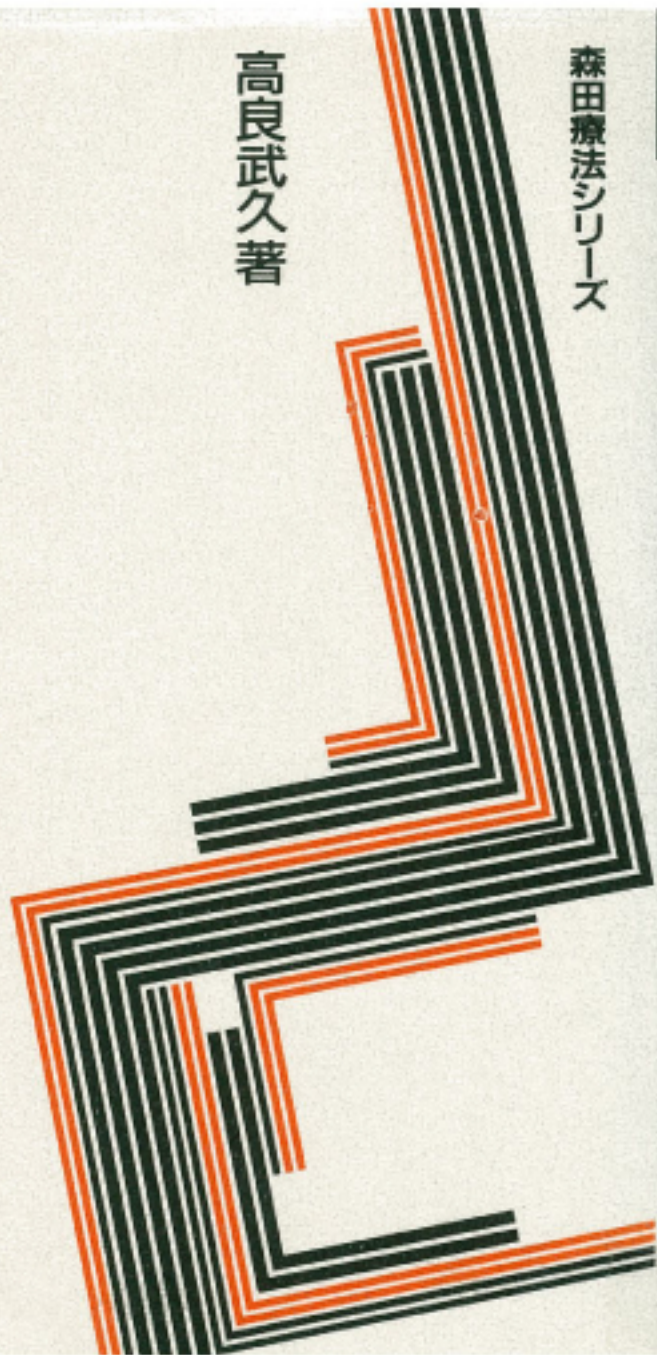


森田療法シリーズ

高良武久著

森田精神療法の実際

あるがままの人間学



3 神経質症状発生の直接の動機

- (1) 対人恐怖の例 (2) 病気恐怖の例 (3) 頭重感およびその他の感覚異常の例
(4) 発作性神経症の例 (5) その他の症例

三

4 神経質症と性格

- (1) 内向的性格 (2) 神経質症者の性格は単純ではない

四

5 適応不安と神経質症状

五

6 神経質症状の主観性

六

7 本来プラスの心理がマイナスの症状になる

七

8 劣等感について

八

9 神経質症治療の要点

九

- (1) 症状の本態を知ること (2) 神経質性格の陶冶 (3) 事物の正認と積極的服従
(4) 注意の転向と気分転換について (5) 「あるがまま」の態度を養成

10 その他の生活態度について

十

- (1) つねに何かをしている生活 (2) まず形を正しくすること (3) 気分本位はいけない (4) 愚痴を言わぬ (5) 病気の中に逃げないこと (6) 完全欲のとらわれ (7) 自信について (8) 自覚と往生 (9) 小児病的態度 (10) 休養その他の誤った対策

11 治療の秘訣「あるがまま」の体得について

十一

12 慢性神経性不眠症の本態と治療

十二

13 神経質症の入院治療

十三

- 入院生活の規定 第一例 二十三歳。発病十六歳 第二例 十九歳。発病

- 十九歳 第三例 三十七歳。発病十四歳 第四例 二十五歳。発病二十二歳 第五例 二十歳。発病二十二歳 第六例 三十歳。発病八年前 第七例 三十八歳(女)。発病三十七歳 第八例 二十二歳。発病十六歳 第九例 三十二歳。発病十五、六歳 第十例 三十二歳。発病三十一歳

14 神経質症状が治ったということについて……………三三

15 神経質症とその他の病症との区別……………三六

- (1)うつ病 (2)精神分裂病 (3)ヒステリー性素質 (4)意志薄弱性素質

16 入院治療の体験記……………三九

- 第一例 三十一歳。精神病恐怖、頭重感、劣等感 第二例 四十四歳。病氣恐怖、対人恐怖、作業不能 第三例 二十二歳。劣等感、対人恐怖、自慰恐怖 第四例 三十四歳。性器短小恐怖 第五例 二十一歳。雑念恐怖、焦燥、勉強不能、不眠症 第六例 二十七歳。劣等感、対人恐怖 第七例 二十七歳(発病十三歳)。雑念恐怖、発作性不安、頭重感 第八例 三十三歳(発病二十六歳)。猛烈な対人恐怖、睡眠障害、排便渋滞感、頭重感 第九例 三十三歳。不眠、頭痛 第十例 三十歳。心悸亢進発作

17 神経症のいろいろ——高良興生院々長・阿部亨……………四二

- (1)執筆にあたって (2)視線恐怖 (3)対人恐怖症のいろいろ (4)不安神経症 (5)書癢(職業性けいれん) (6)不眠ノイローゼ (7)体臭恐怖症 (8)排尿困難 (9)不完全恐怖症 (10)胃腸神経症 (11)病氣恐怖 (12)頭重・頭痛 (13)雑念恐怖 (14)口腔・咽喉神経症 (15)勉強不能 (16)種々の強迫観念

あとがき……………四五